

<p>会報</p> <p>第57号</p>	<p>Mt. Iwaki Conservation Association</p> <p>岩木山を考える</p>	<p>2012年4月 20日発行</p> <p>岩木山を考える会</p> <p>会長 阿部 東</p>
-----------------------	--	---

## 岩木山を考える会 2012年度総会報告

工藤 龍雄 記

今年度の総会が弘前市民参画センターで開かれました。4月7日午後1時30分から3時30分まで、参加されたみなさんがとても岩木山を愛していることがよくわかった1日でした。

先ず司会者に指名された工藤が開会を宣言し、会長のあいさつがありました。ホタルの光から話はじめ、最後には自然を大切にすることがいかに大事かということ、色々と例を挙げて話され、参加された皆さんも会長の見識に納得された様子でした。

次に土岐さんを議長に選出し、2011年度の活動報告と会計報告があり、全員の拍手で承認されました。また、2012年度の活動方針案と予算案も事務局の方針通り承認されました。

最後に質疑応答、意見交換があり、岩木山をめぐるいろいろな話がありました。スカイライン駐車場そばに1本だけあるアオモリトドマツの保護をどうするか、残雪期のスノーモービルの乗り入れをどう考えたらいいか、登山道や山小屋は今のままでいいのかなどなど。

我々会員一人ひとりが真剣に考えていかないと、と思うのですが、皆さんはどうお思いでしょうか。



総会終了後、幹事会が開かれ、会報56号発行の内容に関して事務局から方針が提案され、幹事全員で承認されたことも申し添えます。

### 岩木山を考える会2012年度 活動方針

2012年度は次の4つの活動を中心とする。

#### 1. いろいろな団体と協力し、岩木山の自然保護を通して自然を守る運動を進める。

##### (1) 弥生スキー場跡地問題

弥生ネットの方針に従い、出来る限り現在の植生に手を加えることなく、観察道路を作り調査をし、その結果の記録を残す。

- ① 弘前大学やその他の研究機関、研究者と連携する。
- ② 調査会を年2度行う(弥生ネットと共催)。 6月17日(日)、11月25日(日)
- ③ 弥生市民懇談会を通し、弥生跡地を市民と共に考える。

④出来る限り多く、生息する生物名を記録する。

(2) 岩木山環境保全協議会での活動

①岩木山のゴミ撤去

②登山道の整備(刈り払い8月～9月サイギサイギの前) 岩木山観光協会、山岳会とも協力

③岩木山ガイドの強化

④不法なスノーモービルの規制

(3) ミズバショウ沼周辺の整備

①スキの刈り払い 他

(4) 風力発電問題

①野鳥の会、弘前大学との協力

(5) 県自然保護課や津軽森林管理署への要請・協力

①アオモリドマツ調査

②コマクサ調査

③長平湿原調査 調査日 7月8日(日)

④堰堤問題 他

**2. 岩木山講座を2ヶ月に1回程度開催をめざし、会員と市民との交流を図る。**

岩木山講座① 岩木山神社と桜林 5月6日(日)

岩木山講座② 弥生スキー場跡地観察会 6月17日(日)

下見 4月4日(水) 毎木調査 11月25日(日)

岩木山講座③ 岩木山山頂付近の観察会 7月29日(日)

岩木山講座④ ゴマシジミとミドリシジミの観察会 8月26日(日)

(於、嶽ミズバショウ沼、散歩館)

岩木山講座⑤ 二子沼の紅葉とキノコ汁 10月28日(日)

岩木山講座⑥ 「岩木山周辺の板碑」佐藤仁先生 12月9日(日)

岩木山講座⑦ 「岩木山の成り立ち」松山力先生(予定) 3月24日(日)

**3. 東北自然保護の集いを地元自然保護団体や諸団体の協力を得て成功させる。**

11月3～4日(土・日) 鶴田町廻堰 津軽富士見荘を予定

**4. 会の活動を活発化させるために、次の事に力を注ぐ**

(1) 幹事会は毎月第一火曜日に定例で開催する。

(2) 会報は年3回発行をめざす。

(3) 第20回写真展を成功させる。

2月8日(金)～10日(日)

**平成23年度(2011年度)収支決算報告**

収入の部

単位:円

	予 算	決 算	差引増減	備 考
前年度繰越金	391,191	391,191	0	23年度会費 ¥68,000・24年度以降会費 ¥64,000
会費	93,000	153,000	60,000	23年度会費 ¥83,000・24年度以降会費 ¥70,000
寄付	0	282,500	282,500	20件 ¥264,500・22年度以前会費 ¥18,000
利子	30	52	22	
雑収入	0	31,821	31,821	
合計	484,221	858,564	374,343	

支出の部

単位:円

	予 算	決 算	差引増減	備 考
会議費	10,000	6,072	3,928	総会および幹事会会場費
事務費	27,000	33,856	△6856	インク・コピー
会報費	20,000	44,949	△24949	3回印刷費・用紙・封筒・送料
郵送費	45,000	10,060	34,940	はがき代
シンポジウム	30,000	50,740	△20740	会場費・謝金・お茶
写真展	10,000	7,800	2,200	会場費
調査費	18,000	40,306	△22306	ガソリン代@1000×8, 観察会
予備費	324,221	22,600	301,621	東北自然保護の集い参加補助
合計	484,221	216,383	267,838	

差引収支 858,564 - 216,383 = 642,181 次年度繰越金

平成24年度(2012年度)収支予算

収入の部

単位:円

	23年度決算	24年度予算	備 考
前年度繰越金	391,191	642,181	24年度会費 ¥61,000・25年度以降会費 ¥73,000
会費	153,000	90,000	24年度会費納入予定額
寄付	282,500	0	
利子	52	50	
雑収入	31,821	0	
合計	858,564	732,231	

支出の部

単位:円

	23年度決算	24年度予算	備 考
会議費	6,072	10,000	総会・幹事会会場費
事務費	33,856	35,000	インク・コピー

会報費	44,949	15,000	3回印刷費・用紙・封筒
郵送費	10,060	45,000	会報送料
シンポジウム	50,740	30,000	東北自然保護のつどい関連
写真展	7,800	10,000	会場費
調査費	40,306	25,000	ガソリン代@1000×25回
予備費	22,600	562,231	25年度以降会費¥73,000を含む
合計	216,383	732,231	

## シンポジウム「岩木山の利活用と自然保護を考える」報告

竹浪 純 記(花田一雄さんがブログに詳細な報告文を掲載しておられますので、引用させていただきます。)

3月17日(土)弘前市観光館研修室を会場に、シンポジウム「岩木山の利活用と自然保護を考える」を開催しました。参加者50名と、大勢の方にお集まり頂きました。第1部の基調講演は早池峰フォーラム実行委員会会長の中嶋敬治氏に「パートナーシップで守る早池峰の自然」峰の自然」というテーマでお話いただきました。

早池峰山は固有種ハヤチネウスユキソウをはじめ、多くの貴重種が自生しています。シーズンには全国各地から大勢の登山者で賑わいますが、毎年山頂のトイレから「し尿担ぎおろし」を、岩手県自然保護科や地元自然保護団体が一緒になって実施しているそうです。登山者自身のトイレ処理は自分が始末する様に携帯トイレ利用を推奨していて、今年は山開きの6月12日から体育の日までの121日間、登山者は携帯トイレのみで処理する様に呼びかけています。私たちの山でもマナーとして考える必要がありそうです。



第2部パネルディスカッションではコーディネーターを中嶋氏にお願いしました。パネラーからは、次のような報告・問題提起がなされました。

当会阿部会長:独立峰としての岩木山の生物多様性の脆弱さをわれわれが自覚し、いかに自然の豊かさを守るかについて。

岩木山観光協会事務局長小山伸吉氏:岩木山の裾に捨てられている粗大ゴミ回収行事「岩木山エコプロジェクト」について。

日赤岩木山パトロール隊隊員工藤雅人氏:スキー場のパトロールをはじめ、岩木山での山岳事故の一次手当、登山道の補修について。

弘前勤労者山岳会会長清野嘉樹氏:会員による清掃山行や一般募集の大衆山行の実施、そして岩木山一周ウォークについて。

最後に、コーディネーター中嶋氏が、自然保護や環境問題、野生動物との共生は「全ては人間の英知にかかっている」、「自然に生かされ、自然に学び、勇気をいただく」と結んでシンポジウムは終了しました。参加者から、次のような感想が出されていました。

「先日「岩木山」について考えるというシンポジウムに参加しました。参加者たちはいずれも「ふるさとの山、岩木山」を愛してやまない人たちでした。機会のあるごとに人さまざまですが朝に夕に眺めたり、にっこりしたり、涙したり、と心の中にある様に思う。春にはブナの芽吹き、ヤシオツツジの濃いピンク色とタムシバの白い花そして青空のコントラストが眩しい、秋には山の恵みを少々頂き舌鼓、そして黄金色に垂れる穂の向こうに見える雄姿、本当に様々に楽しませてくれる岩木山。また旅に出かけ帰郷の際には、岩木山が見えると「ああ！帰ってきました！」とほっとする。そんな山の麓には見るに堪えない沢山のゴミ、拾っても拾っても春の雪解けになるとまたある。山頂の小屋も決してきれいとは言えない、またぜひ泊まってみたい小屋でもない。ミニスカートやヒールで登るマナーが問われる登山者等々、気になることが次々と参加者、パネリスト等から聞かれた。

ピカピカに磨ける物なら何とでもなるでしょうが大自然が相手のこと。簡単なことではない。ふるさとの山を次の世代に残したいという気持ちが目に見えない活動、地味な活動を支えているのだと思う。しかし何と言っても山が好き！岩木山が好き！という今の自分達の気持ちが一番大きいと思う。

一人の力は小さいけど繋がる则ち大きくなる。できることから始め、これからも私達を楽しませてくれる山を大事にしていきたい。と感じ何となくほっこりした気分が帰宅についた。」

## 第 18 回「私の岩木山」写真展報告

平成 24 年 2 月 10 日 (金)～2 月 12 日 (日) NHK 弘前放送局ギャラリーにて

竹谷 清光 記



今年の弘前市は近年にない大雪に見舞われ、積雪も1m越え、記録に残る冬です。

写真展の間も降雪が続き、悪い天候で来訪者の出足が心配されたが、286人に見て頂き、安堵する。

作品展示者は20人、作品数は80点と、皆さんの思いが詰まった作品が紹介され、次の写真展につながると思う。作品の展示は会員の協力で手際よく終え、ありがとうございました。

企画コーナーでは、岩木山講座、会の活動が記録写真で紹介され良かった。写真、記録などを作り、提供して頂いた花田氏にお礼を申し上げます。

## 平成 24 年度岩木山講座の日程

### ①5/6 岩木山神社と桜林

百沢の岩木山神社は、明治以前は百沢寺ひゃくたくじというお寺でした。現在も建造物が残されています。



岩木山神社の見学と同時に百沢寺跡を見学し、時間があれば求聞寺の見学や森の小鳥の観察をします。

日 時： 5月6日(日) 10時～13時

集 合 場 所： 百沢駐車場



持 ち 物： 昼食・雨具

参 加 費： 100円(保険代)

責 任 者： 阿部 東 申し込み先 0172-36-4205

申込締切日： 5月1日(火)

## ②6/17 弥生スキー場跡地観察会

跡地の自然の回復調査は2年目に入りました

豊かな自然を市民がどのように利活用したらいいか、みんなで考えましょう

弥生スキー場跡地の自然は順調に回復が進んでいるようです。昨年の調査では、ハンノキやニセアカシヤが勢いよく生長していることが明らかになりました。また、ニホンザリガニやオゼ

イトトンボに加え、県内では絶滅危惧種の一つに挙げられているハッチョウトンボの生育が確認され、大きな話題となりました。今年はどういう変化を、弥生跡地の自然は見せてくれるのでしょうか。参加者一人ひとりの目で確認しましょう。

広大な弥生跡地の自然を守りながら、市民がどのようにそれを活かし利用していくか、今弘前市が音頭を取り市民懇談会を開催し、話し合いが始まっています。現地を多くの市民に見てもらい感想や意見を出して頂くことが、市政に市民の声を反映させる上で必要なことです。観察会に多数ご参加下さい。

日 時： 6月17日(日) 10時～13時

集 合 場 所： 弥生いこいの広場駐車場

持 ち 物： 昼食(おにぎり持参。豚汁を準備します。)・雨具・手袋・長靴

(持っていれば・・)金魚掬いのアミ、1m位の布製のメジャー・虫メガネ・発砲スチロールのトレイ

参 加 費： 500円(保険・資料・豚汁代)

責 任 者： 竹浪 純 (問い合わせ:080-5229-6076 竹浪宛)

申し込み先： 0172-35-6819(三浦宅)

共 催： 弥生スキー場跡地問題を考える市民ネットワーク(弘前市民オンブズパーソン、コープあおもり弘前地域、岩木山を考える会、市民が主人公のみんなの会、津軽保健生活協同組合、弘前市を考える会) ウォッチング青森(青森県自然観察指導員連絡会)

申込締切日： 6月11日(月)



## ③7/29 岩木山山頂付近の観察会

昨年はミチノクコザクラのアカバナ・シロバナに出会えた観察会。今年は鳥海山まで足を伸ばします。雪解けの遅い風衝地で今年はどうな発見があるでしょう。その自然の回復を確認しながら、一層の自然保護の運動につなげましょう。

日 時： 7月29日(日) 9時 ~ 15時

集 合 場 所： ミズバショウ沼公園駐車場(ここで幹事等の車に分乗してスカイラインターミナルまで移動)

持 ち 物： 昼食・雨具・手袋・長靴(登山靴)

参加費：200円(保険・資料代) ※他にスカイライン利用料として500円

\*ミズバショウ沼公園駐車場までの交通手段の無い方は申込み時ご相談ください。

責任者：竹谷 清光 申し込み:0172-36-6686(竹谷宅:受付は午後5時以降)

申込開始日：7月1日(日)／申込締切日 7月24日(火) ※定員 25名

## ④8/25 ゴマシジミとミドリシジミの観察会

岩木山周辺の湿原がほとんど開発により失われ、そこにすむゴマシジミ(蝶)が絶滅寸前です。岩木山を考える会では嶽温泉のキャンプ場の一面、ミズバショウ沼の隣接地でアシヤススキを刈り、ナガホノシロワレモコウ(ゴマシジミの食草)を守り、ゴマシジミの発生を助けてきました。アシヤススキの刈り払いがゴマシジミの発生に与える影響を観察します。

1. 刈り払いした場所の植物相とゴマシジミの発生
2. 刈り払いしなかった場所の植物相
3. ミズバショウ沼の続きに休耕地があり、ここにはナガホノシロワレモコウはあるが、シワクシケアリの巣はこれまで見られません。ここにゴマシジミが発生しているかどうかについて調査します。

日時：8月26日(日) 10時～12時

集合場所：ミズバショウ沼公園駐車場

持ち物：雨具・長靴

参加費：100円(保険代)

責任者：阿部 東 申し込み先 0172-36-4205

申込締切日：8月22日(水)

## 【 寄 稿 】

### フクジュソウの春

阿

部 東 記

雪どけが進み、土が斑雪の間に顔をのぞかせた所に、軽い緑色に包まれた黄色の頭を出す。まるで太陽を恋ふる様に陽光に向かって開き、その輝きはまさに福ふく草(花壇綱目 1681)に価する。

朝鮮、中国東北部シベリアアムール川、日本では本州北部、北海道に分布する。アイヌ研究者の更科源蔵は、フクジュソウがイトウが川を遡行する時期に咲くことから「チライ・アパッポ」(イトウの花)と呼びチライ・アパッポが咲くと銚を磨いたと記している。

津軽でも雪の少ない津梅などでは四月の月上旬に緑色の葉につつまれて花を咲かせるが、弘前では相馬藍内、座頭石、久渡寺など雪の間から蕾だけをのぞかせる。あちこちに自生しているが、それに気が付かないのは早春に花が終わるからである。


小学生の頃、春休みは鮎釣りが年中行事であった。雪どけ水がいく分温む、午後2時頃釣竿を手に用水路をまわる。雪が消えた所でシロ(細い、小さいネギで、小さな球根がついていた)を抜いては少し辛いのを食べたものである。


いつのことがよく判らないが、雪が降り出した中で、川の土手の枯葉の間から黄色の頭を見つけたのがフクジュソウとの初対面である。不思議に思って一本だけ掘り起こして庭のすみに植えたことがある。小学4年生に弘前市内の小学校に転校し、釣りもしなくなったこともあり、2～3年も忘れていたが、小学校6年生の春、雪が消えかけた庭先に眩いばかりの黄色を見つけることが出来た。私はうずくまって希望に満ちた春の訪れを満喫した。私が気付かない年もひっそりと咲きつづけていたに違いない。

観桜会が近づき、学校の回りが急にさわがしくなった午後、ソフトボールが外野に飛んで、拾いにいった草叢、草丈が伸びて、花ビラが散ったそれらしきに気がついた。そこに移植したという用務員のオジサンに聞いてフクジュソウの名を知ることが出来た。私が見たあの黄色の蕾と同じ物とはどうしても思えない代物であったが、フクジュソウと聞いて納得した。



### \* 会員の皆さんへお願い \*

 「岩木山を考える会」の会員継続手続きをお願いします。会費納入は同封の振込用紙でお支払いいただくか、最寄りの幹事までお届け下さい。但し、振込用紙は平成24年度会費未納の方にのみ同封させて頂いております。この点ご了承下さい。

 岩木山に関する情報やこういう事を会員皆と共有したいと言った希望がありましたら、事務局までご一報下さい。会報は会員の皆さんの交流の場です。また、寄稿なども大歓迎です。

### < 編集後記 >

今年の雪は大変なものでした。1月はりんごの木の雪下ろしに汗を流し、2月は雪に埋まったりりんごの枝を掘り上げる作業。3月になってやっと枝を掘上げつつ剪定を始められました。それでも何本かは無残にも折れてしまいました。2月に2週間小笠原に旅行に行っていたせいもありますが…。現在4月17日畑にはまだ50センチ雪が残っています。この調子だと雪解けした後の仕事が詰まって大変なことになりそう。でも山に雪がたくさんあれば今年も田んぼの水は困らないかもしれませんね。

気候の変動がどんどん激しくなっているような気がします。これから地球はどうなるのでしょうか？地球温暖化は止めたい。でも、原発には絶対に頼りたくない。結局原発に頼って無駄遣いを省みない今の社会が変わらなければ遅かれ早かれ文明は破綻するでしょう。地球は温暖化するか、温暖化した上に放射能まみれになるか…。それよりも省エネしましょう。我が家はりんごの薪で暖房はほとんど賄える。薪以外にもいろんなものが自給できる。そんな家に生まれたのは今ではとても幸運に思えます。

小倉慎吾 記

会報「岩木山を考える」第57号(2012年4月20日発行)発行 / 岩木山を考える会 / 会長 阿部 東

〒036-8336 青森県弘前市栄町4-12-2 / 電話 0172-36-4205 事務局長 竹浪 純 / 電話 080-5229-6076

郵便振込口座番号 02380-0-37914 振込先:岩木山を考える会